

環境保全のボランティア体験講座 2025 第8回講座レポート

第8回講座となる修了式を11月30日（日）環境事業協会の本社会議室で開催しました。この日の受講生の参加者は17名で、以下の流れで進行しました。

左下の写真は、当協会松本理事長からの労いの言葉のあと、受講生一人ひとりに直接修了証書をお渡ししていく様子です。



修了式のスケジュール	
13:00～	開会
13:02～	理事長挨拶
13:05～	修了証書授与
13:20～	写真等を見ながらふり返り
14:00～	休憩
14:10～	活動地 No.1 総選挙 他感想共有
14:55～	修了生のその後
15:15～	大阪みどりのトラスト協会 保全地紹介
15:45～	大阪自然環境保全協会 保全地紹介
16:15～	懇親会（ティータイム）
～17:00	アンケート記入・終了・解散



配布資料は左の写真のように過去最高部数。

本日ご講演いただく活動地案内用のたくさんの情報や、ボランティア団体の会報誌が含まれます。

受講生は修了証書受け取り後、着席してふり返りに入ります。

PowerPointのスライドには、弊社ホームページにアップロードしてある報告レポートを使用して話を進めました。

6月からの活動の記憶が思い起こされます。



会場には、以下のように各活動地でお世話になった方々もお招きしました。



右上の写真で順にご紹介しますと司会者の向かって右隣から、

歌垣 SATOYAMA 楽舎代表 湯浅淳子氏

信太の森 FAN クラブ代表 田丸八郎氏

和泉葛城山ブナ愛樹クラブ 高原喬二氏

淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク会長 綾史郎氏

となります。

右端は昨年度の講座修了生「淀ちゃん」こと渡邊翔悟さんです。

淀ちゃんは現在も活発に活動をされていて、受講生に内容を紹介すべくお招きしました。

講座でお世話になった活動地の方にその都度前に出てきていただき、すべての講座のふり返りを順に進めます（写真右）。



そして休憩を挟んだ後、**活動地 No.1 総選挙**と題したアクティビティの開始です！

これは昨年度からの試みで、運営側も大変関心が高いものでした。

各活動地に参加してみた結果、お気に入りとなった活動地とその理由を、活動地 No.1 総選挙に参加の 14 名（3 名は体調不良で早退）に付箋に記入してもらい、1 人 2 票制で投票して貰うというものです（写真左）。

受講生への記入を待ってもらっている間、活動地の方にはホワイトボードに活動地のシンボルなどのお絵描きをしてもらっていました（写真右）。

普段お絵描きをされない方々ばかりなので少し恥ずかし気にされていたのが印象的です。

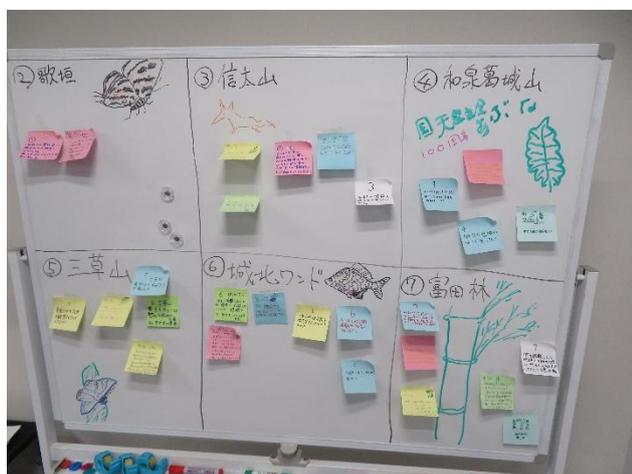


左の写真は、その描かれたホワイトボードをクルッと反転させ、活動地の皆さんに見えないように一工夫、投票用紙を活動地ごとの枠中に貼ってもらっている様子です。順位結果がどうなるか“ドキドキ”ですね！

そして！いよいよホワイトボードを反転させて結果発表です！

—投票結果（上位3位）は以下の通り☆多—

- | | | | | |
|----|----|----------|--------|---------|
| 1位 | 6票 | 講座出席 14名 | 第6回活動地 | 淀川城北ワンド |
| 1位 | 6票 | 講座出席 9名 | 第7回活動地 | 富田林奥の谷 |
| 3位 | 5票 | 講座出席 15名 | 第3回活動地 | 信太山 |
| 3位 | 5票 | 講座出席 13名 | 第5回活動地 | 能勢三草山 |



これまでの各講座の出席者数は15～9名と開きがありました。特に9名だけの出席で、更に雨天だった富田林奥の谷は、活動地 No.1 総選挙で票の獲得に不利な条件でしたが、結果1位となっており、昨年と同様驚きの結果となりました。

放置竹林の問題点の確認から管理方法、利用までを順に1日で学べたことで評価が高くなったことが予想されます。

総選挙は昨年度からの新企画でしたが、この結果を応用した講座修了後の活動地への参加宣言は、年度末までに計8日間6活動地でのべ22名（友達も誘うとのことで実質23）あり、昨年度の講座以上の効果を得られました。また、修了式欠席者や早退者との調整も行うのでこの数は更に増える見込みです。

—受講生がそれぞれの**活動地を選んだ理由**の一部を以下に紹介します—

■第2回活動地 歌垣 SATOYAMA 楽舎

- ・「人生初が沢山ありましたー!!」／人生初ジビエおいしかったです！／薪割り体験、難しかったけど、人生の経験になりました♡／人生初真剣にチョウチョ探し!!
- ・初めての農作業に採れたての野菜とジビエカレーめっちゃおいしかったです！また食べたい!!

■第3回活動地 信太山

- ・階段を作る体験が学内の活動で役に立った。
- ・たくさんの高い木々に囲まれていて、凄くストレス解消された！こちよ緑の中で人が歩ける階段づくりなど初めてのことで楽しかった。

■第4回活動地 和泉葛城山ブナ林

- ・木を伐倒したり、2人で引くノコギリなど貴重な体験ができた。
- ・木を切るという体験がはじめてだったので新鮮でたのしかったから。和泉かつらぎ山は犬鳴山とあわせてまたハイキングしたいと思ったから。

■第5回活動地 能勢三草山

- ・三草山だからこそ見られる植生やきのこなどの産物を多く見つけられたことと、昔からのその土地での暮らしを感じるカマや稲刈り作業を体験できたこと、鹿と人の関わり方のお話から学べたことが印象に残っています！
- ・貴重な水生昆虫を観察することができたから。

■第6回活動地 淀川城北ワンド

- ・投網人生初だったので、やる前からワクワクしてました!!／魚好きとしては、とてもとても興味のある体験内容でした！／地域の一般の方々の活動風景が見れたのも「活動してる!!」感があって良かったです!!
- ・城北ワンドの今まで経験したことのない環境で経験したことのない投網ができ魚がたくさんとれたから。

■第7回活動地 富田林奥の谷

・竹を植えて、育てて間引きして伐採してチップにしたり日常生活に使うものに利活用するまでの過程を体験と共に学べたこと、地域や社会との関わりがあって保全ができるという大切さを実感できたことです！

・竹林で伐採したり加工したりしながら竹に関する知識を得てとても勉強になりました。

皆さんはそれぞれ活動地を2箇所選んで投票したということでしたので・・・

—では皆で一緒に活動に参加できる日はないか！？—

という流れで、1位から順に投票した人には前に出て来てもらい、6活動地の方と共に今後の参加について話し合いました（写真下）。



少数の獲得票だった活動地でも、「また行ってみたい！」などの声もあり、票を入れていなかった人まで手を挙げて参加宣言をする盛り上がりを見せました。

その後、前年度までに開催した、自然環境を保全するボランティア団体の活動地を巡る、

- ・ 学生ボランティア養成講座 第1期生
- ・ 学生ボランティア養成講座 第2期生
- ・ 大自然とお友達体験講座 2023
- ・ 環境保全のボランティア体験講座 2024



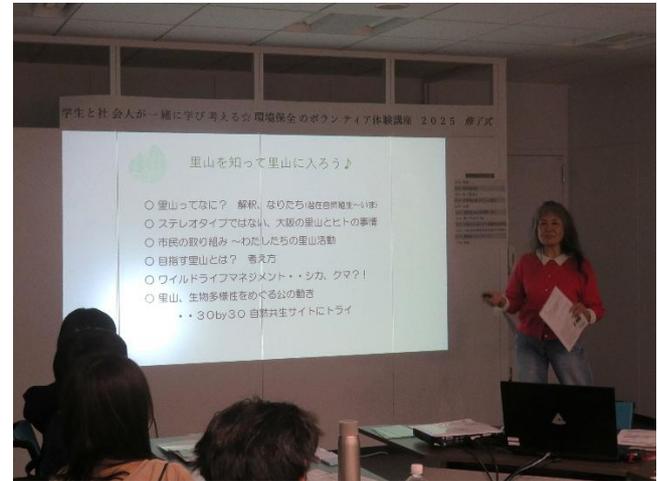
以上の修了生が、個人的に活動に参加している、又は講座で得た体験や知識を応用して活動している様子などを、

PowerPointのスライドや書面などで複数名分をご紹介します。

その途中には、左の写真のスライド画面の内容を、昨年の修了生、渡邊さんに紹介していただきました。

左下の写真は、その後行われた(公財)大阪みどりのトラスト協会事業マネージャー飯野博道氏による、トラスト協会が支援・管轄としている自然環境保全活動地紹介の様子です。右下の写真は、(公社)大阪自然環境保全協会里山委員会の委員である常俊容子氏による、里山管理についての話題や、保全協会が支援・管轄としている自然環境保全活動地の紹介をされている様子です。

受講生や活動地の方々は、静かに画面に視線を集めていました。



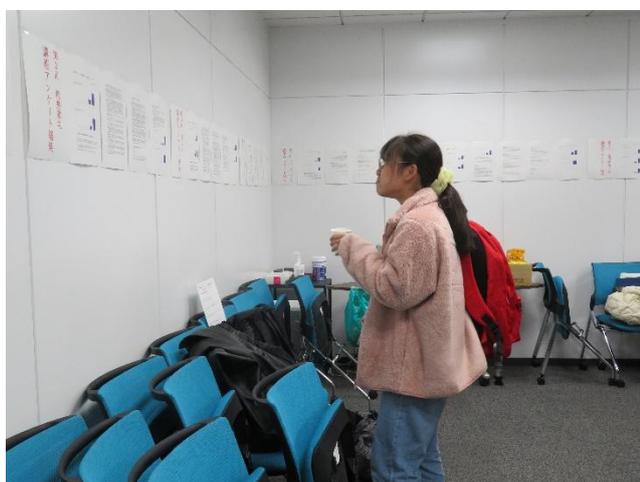
お二方のご講演が終わると、環境事業協会の職員で大阪自然環境保全協会の理事でもある岡本が、大阪自然環境保全協会発行の会報誌「都市と自然」の紹介と、寄稿した多くの記事の紹介、併せて、学生会員制度についてのご案内もしました。

その後、活動地の方と受講生がコーヒーやお菓子を食べながら交流する機会として、懇親会を開きました。

普段こういった機会はまずないので、参加者の皆さんは貴重な時間を過ごされました。



以下の写真のように、年齢の垣根を越えて交流がされました。



左の写真は、壁に貼りだしてある各講座のアンケート集計結果を見ている受講生の様子です。

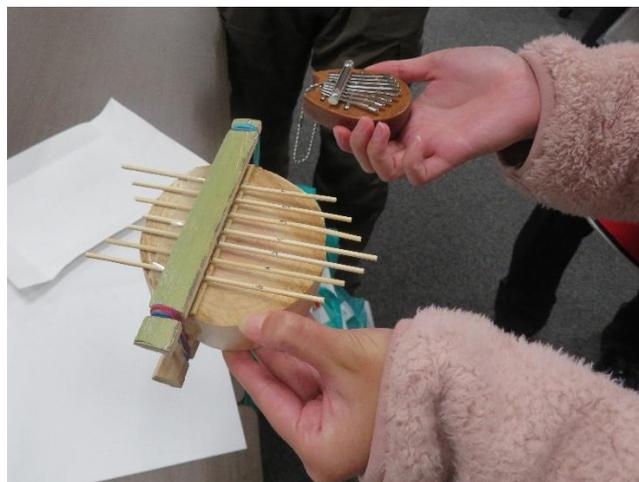
これまでの7回の講座の終了後にとったアンケートをすべて掲載していました。

下の写真で受講生が左手に持つものは、右手に持っているものを模して作った「カリンバ」という楽器です。

和泉葛城山で切ったヒノキと、富田林で切った竹を組み合わせて作ったそうで、恥ずかしいからと閉会后最後に残った数名にだけ披露してくれたものでした。

巧妙に作られており、弾くと音階を奏でていました。

周りは「皆さんがいる前で紹介したら良かったのに～！」と、笑顔で話していました。



講座終了後に行ったアンケートでの、全体を通しての感想の一例を以下に紹介します。
自身の学びに繋がり充実したという回答がたくさん見られました。

・実際にやってみないと分からないことがたくさんあることが分かった。自身のこれからの保全活動に大きな学びとなった。

・文系の学生として、敷位について考えていましたが、とても参加しやすく、且つ、とても楽しんで活動することができた。今回の参加で学べた一番は、人との繋がりだと思う。志を同じにする人たちが集っての場はとても暖かかったです。ありがとうございました!!

・自分が知らない事を知る事ができたので色々な事を体験できた事がよかった。

・今回の体験で、自然に対する視野がとても広がりました。また、色々な体験を実際に体験することで、技能を身につけることができました。

・これまでの活動のふり返りができて、改めて活動に参加して学んだことを思い出して、これから活かしていきたいと思った。

・合計8回のこの一連の講座を通して、環境保全対策には様々な方法があり、実際に訪れた活動場所一つ一つの背景もふまえて貴重な体験と学びを得ることができました。

・自分個人的に最も楽しく、勉強になったと思える所は竹細工のボランティアでした。いつも日曜日にあったので休日の一日を朝早く起きないといけないと考えることもあったのですが、いくと、いつも学ぶことがたくさんあり充実した休日になったという満足感がありました!!ありがとうございました!!

・今回の活動を通して、自らの大学での学びとつなげて保全に対する理解を深める機会をこれからもつくっていきたいと思いました。また、サークルでの活動でより地域の活動をされている方々と関わり合っていけるような形をつくることができると良いなと考えています!3回ほどしか外で活動できていなかったのですが、1つ1つとても楽しく充実したものになったのでとてもありがたかったです。本当にありがとうございました!

・学校で学んだことを活かせる活動内容となっていてとても充実したボランティア活動でした。現地の人々が自然とどう向き合っているのか、とても勉強になりました。さらに普段ではあまり見ることができない珍しい生物も見ることができ、改めて環境保全の重要性に気づくことができました。

また、以下のように、休んだことに後悔したといった内容も見られました。

・休んだ日もあったが、ふり返りで話を聞いていると、すべて行けば良かったと後悔した。資格の勉強や卒論で予定が未定のため、今後のスケジュールがわからなかったが、卒業までに1度は今日来ていただいた方々のボランティアの方で体験したい。

以下のように、今後の活動参加や会員登録までされるような内容も見られました。

・このような団体活動をあまりしたことがなかったので良い経験になりました。今後の活動については縁があれば活動に参加したいです。

・ボランティア活動への参加を積極的に参加してみたい。

・どの環境も自然環境には人と自然の関わりが大切なことを感じました。また、今まで授業できてきたを実践したりして楽しいと感じながら保全ができることがたくさんあることを知りました。今後は、今まで行ってきた色んな保全ボランティアの活動の参加や自然環境のインストラクターにも興味があるのでそういった活動にも参加したいです。

・貴重な活動をたくさん体験でき、これからも参加する活動などあるので楽しみです。

・参加できたボランティアと出来なかったボランティアがあるので、そこがもったいなかった、おしかなかったと感じた。信太山でのボランティアは継続的に参加したいと思うので信太山とのつながりを持たしてくれたことが今回のプロジェクトに参加した一番の価値だと思う。

・今回のボランティアを通して、今まで行ったことのない場所の生態などを深く知ることができ、とても興味をもてました。今後も、紹介していただいた活動地に自主的に行ってみたいと思います。

以下のように、主体的に活動をしたいとの感想も出ており、これからの自然環境保全の世界が楽しみとなる、期待の膨らむ内容となりました。

・普通にすごしていたら、出会えない方々と出会えて、本当に楽しかったです!!自然についての考えや、自然に対する責任も深まりました。自分ももっと主体的にこういう活動をしてみたいので、明日学校にいったら先生にはなしたいです！お世話になりました!!

さて、受講生の皆さん、半年間お疲れ様でした。

大好評だったようで、また無事終了できまして良かったです。事務局としましては、講座が終わってからも、参加者の今後や各活動地の今後に繋がるような講座やイベントのご案内を、積極的に続けていっております。ぜひ自分にあった活動を見つけて、次につなげていただければと思います。



また、学生ボランティア養成講座 第1期生から5年目となる、自然環境保全のボランティア活動地を巡る当シリーズ講座は、毎年ブラッシュアップしております。

今年度も修了式で「活動地 No.1 総選挙」という企画がありましたが、そのアクティビティがきっかけで講座修了後の活動地への参加もかなり複数の日で受講生から具体的に手が挙がり、例年以上のいい感触を得られました。

残念ながら投票結果で上位に選ばれなかった団体さんにも、どこよりも魅力ある活動地を目指して今後頑張ってもらいたいのと、今後の講座の内容も活動地の方々と検討して、共に良いものを作り上げて結果を出していきたいと考えております。

来年度も、より良い講座を目指して組み立てていきますので、今後ともよろしく願い申し上げます。